

町民のひろば



横芝中学校三年

鈴木 章子

租税教室を読んで

私は、租税教室という本を読んで、一番最初に感じたことは、国が仕事ってみたいへんなんだなーと思いました。そして、その中で一つだけ例にあげると、それは税金です。また、私たちの両親が、税金を払っていることによって、國やお年寄りの方々が、どれほど助かっているかということがはっきりわかりました。

国の仕事の中には、四つあることがあります。まず一つは「国民の健康や生活を守るために」ということ、二つ目は「住宅や道路などの整備のために」ということ。三つ目は「教育や科学の振興のために」、そして四つ目の振興のために」、そして四つ目

は「地方財政の援助のために」。その他にもたくさんあることがあります。國の財政で、昭和五十四年度一般会計予算が、歳出・歳入とともに同じく三十八兆六千億円もするには、とてもおどろきました。また、国民経済と財政の関係ということが面白いことに、一つのくり返しとなつていて、それが何を意味するかを理解するのに、とてもおどろきました。

政府から企業へ補助金財貨・サービスの購入として送られ、企業から家計へ給料支払いとして送られて、家計から政府へ租税として送られるのです。それからまた、政府から家計へ給料・移転的支出として送られ、家計から企業へ財貨

私として考えたことは、両親が働いたら、その中からいくらか税金として、役場に払うだけかと思っていたのに、それだけではなく、私の知らないことが、こんなにもたくさんあつたんだなー。私は、租税教室という本を読んで、役場に払うだけかと思っていました。私が働いたら、その中からいくらか税金として、役場に払うだけかと思っていたのに、それだけではなく、私の知らないことが、こんなにもたくさんあつたんだなー。

私は、租税教室という本を読んで、役場に払うだけかと思っていました。私は、この租税教室という本を読んで、国にとって各税金の直接税と、間接税等の割合では、五カ国の國の日本・アメリカ・イギリス・西ドイツ・フランスなど、私としては、どの国もみんな日本とちょうど正反対だったのですが、そのものが税金というものなのか、そして国の仕事や働き、財政などが、私たちの将来で、税金を払う立場になつて、知つておかなければならぬことが、よくわかりました。

最後に、日本における税金の歴史が、かなり昔からあつたことがわかりました。私は、この租税教室という本を読んで、国にとって税金というものが、どんなに大切なことか、また、国の仕事を少しおこなつたことを、とてもわかり多く知つたことを、とてもうれしく思います。その結果、今まで税金といつてもよく勉強になりました。とてもよい勉強になりました。また一つ成長した気がします。

— 543 —

横芝俳壇

横芝句会四月例会

兼題 虚子忌

席題 瞑 目

土屋 栗水
山門に発句を掲げて花の寺
梵鐘にはと止みたる百千鳥大沢 竹王
花早き庭に塩水撰終り
雪柳一面まぶし愛宕山宇野沢竹童
東風渡る呴吐仁王の力こぶ奥山 萌子
木の芽立つ波浸蝕の古き岩佐久間実枝子
日葉をさして虚子忌の季寄を読む佐久間実枝子
花の坂尺程先に杖おろし柏餅
花の雲仁王は錢を踏みしだき成田 慶子
山門より直ぐ躰ち花の崖不堂
香持ぐうからは遠き荒彼岸宇井 芝童
花の雲仁王は錢を踏みしだき
秋葉喜一郎
句作りに親しみ覚え虚子忌日加藤 庄亮
次回紫陽花
柏餅木下石果子
日時 六月四日(水)柏餅
花の雲仁王は錢を踏みしだき秋葉喜一郎
句作りに親しみ覚え虚子忌日

あなたの近所の話題をお寄せください。

おもしろい趣味をお持ちの方など、どしどしどぞ!

広報係二一一一五まで。

椿鉄器に活けて椿寿の忌

藤代 ゆう

句作りに親しみ覚え虚子忌日

宇井 芝童
椿寿忌や句作幾峰幾裾野成田 慶子
山門に発句を掲げて花の寺
梵鐘にはと止みたる百千鳥宇井 芝童
花早き庭に塩水撰終り
雪柳一面まぶし愛宕山大沢 竹王
東風渡る呴吐仁王の力こぶ奥山 萌子
木の芽立つ波浸蝕の古き岩佐久間実枝子
日葉をさして虚子忌の季寄を読む柏餅
花の雲仁王は錢を踏みしだき秋葉喜一郎
句作りに親しみ覚え虚子忌日柏餅
花の雲仁王は錢を踏みしだき秋葉喜一郎
句作りに親しみ覚え虚子忌日